

第 19 回「環境放射能」研究会 プログラム

3月13日 (火)

開会挨拶 (日本放射化学会会長 中西友子) (13:00-13:10)

セッション1 (13:10-15:15)

1. H29浪江町林野火災地近隣において捕捉された大気浮遊じんの原因の推定
JAEA 福島環境安全センター 石井 康雄

依頼講演 1.

森林・河川水系における放射性セシウムの動態

— 福島長期環境動態研究 5 年間の成果と課題 —

JAEA 福島環境安全センター 飯島 和毅

2. 山菜「オヤマボクチ」による放射性セシウムの吸収
郡山女子大学短期大学部 武地 誠一
3. セシウムのキノコ培地中での挙動および子実体への移行
東北大学大学院理学研究科 村野井 友

ポスターセッション 1-1 (奇数番:60分) (15:15-16:15)

セッション2 (16:15-17:55)

4. 福島原発事故後の土壌中での Sr-90、Cs-137 の挙動とウシの糞への移行機構
東北大学大学院理学研究科 小荒井 一真
5. 福島原発事故被災ウシ硬組織への Sr-90 の取り込み履歴の推定
東北大学大学院理学研究科 西山 純平
6. 福島県霊山登山道における放射線量の推移および空間線量とコケ中 Cs-137 濃度との関係性について
福島大学共生システム理工学類 佐藤 守
7. 異なるタイプの森林における空間線量率の経年変化
首都大学東京大学院都市環境科学研究科 櫻井 哲史

3月14日 (水)

セッション3 (9:00-10:15)

8. 避難指示区域のヤマメの¹³⁷Cs濃度の経年変化

福島県内水面水産試験場

中久保 泰起

依頼講演 2.

赤城大沼を中心とした水圏生態系における放射性セシウム動態

群馬県水産試験場

鈴木 究真

ポスターセッション 1-2 (奇数番:30分) (10:15-10:45)

セッション4 (10:45-12:00)

9. 福島県の湖沼に生息するウグイの年齢と¹³⁷Cs濃度の関係

福島県内水面水産試験場

鷹崎 和義

10. 飼育環境下におけるウグイ体内の放射性Cs濃度の変化と体サイズの関係

福島県内水面水産試験場

寺本 航

11. 赤城大沼におけるイワナ¹³⁷Cs濃度の推移

群馬県水産試験場

渡辺 峻

セッション5 (12:45-14:25)

12. 福島沿岸域に設置したセジメントトラップに捕集された沈降粒子中の放射性セシウム濃度

金沢大学環日本域環境研究センター 長尾 誠也

13. 南東北とウクライナ北部のサクラ樹皮における放射性セシウム汚染

福島学院大学短期大学部

杉浦 広幸

14. サクラにおける放射性Csの吸収と循環に関する通年モニタリング

電力中央研究所

吉原 利一

15. スギ材部における放射性Cs濃度の推移

福島県林業研究センター

小川 秀樹

ポスターセッション 2-1 (偶数番:60分) (14:25-15:25)

セッション6 (15:25-16:40)

特別講演 1.

環境中に存在する放射性核種の放射化学分離分析

愛知医科大学医学部 小島 貞男

16. 原発事故由来放射性微粒子の加熱による放射能消失

東京大学大学院理学系研究科 奥村 大河

セッション7 (16:50-18:05)

17. 福島第1原発事故によるいわき市における初期被曝評価の試み

京都大学原子炉実験所 今中 哲二

18. 大気中 ^7Be 濃度の測定と変動解析

福岡県保健環境研究所 檜崎 幸範

19. 放射線安全規制研究推進事業「加速器施設の廃止措置に係わる放射化物の測定, 評価手法の確立」の活動について

高エネルギー加速器研究機構 吉田 剛

懇親会 (18:30-20:00)

3月15日 (木)

セッション8 (9:00-9:50)

20. 大型再処理施設に隣接する汽水湖の水生生物における ^{129}I の経年変化
(公財)環境科学技術研究所 植田 真司
21. 土壌-土壌溶液系における土壌有機物の分配係数と放射性ヨウ素の分配係数の関連
(公財)環境科学技術研究所 海野 佑介

ポスターセッション 2-2 (偶数番:30分) (9:50-10:20)

セッション9 (10:20-12:25)

22. 初期内部被ばく線量評価のための実測値・推計値の総合解析
東京大学大学院工学系研究科 森口 祐一
23. 大気浮遊粒子試料中の I-129/I-131 比
首都大学東京大学院理工学研究科 海老原 充
24. 自動 SPM 計でのテープろ紙の分析による大気中の福島原発事故由来 ^{129}I 濃度
首都大学東京大学院理工学研究科 大浦 泰嗣
25. 福島第一原子力発電所事故初期の大気汚染監視網 SPM 測定地点における大気中 I-131 濃度の推定
リモート・センシング技術センター 鶴田 治雄
26. 大気拡散・ばく露評価統合モデルを用いた事故初期の経気道ばく露推計
国立環境研究所 大原 利真

セッション10 (13:10-14:50)

依頼講演 3.

素粒子ミュオンを用いた新しい元素分析法の開発

大阪大学大学院理学研究科 二宮 和彦

27. EELS による原発事故由来放射性微粒子の形成雰囲気 の推定
東京大学大学院理学系研究科 小暮 敏博
28. 純水中における原発事故由来放射性微粒子の溶解速度と形態変化
農研機構業環境変動研究センター 山口 紀子

奨励賞表彰 / 閉会挨拶 (高エネ研放射線科学センター長 波戸芳仁) (14:50-15:00)

ポスター発表

(奇数番号): 3/13 15:15-16:15 (60分), 3/14 10:15-10:45 (30分)

(偶数番号): 3/14 14:25-15:25 (60分), 3/15 9:50-10:20 (30分)

- P-1 福島第一原子力発電所近隣における土壌中放射性物質の調査 2016 ～放射性セシウムの深度分布
大阪大学大学院理学研究科 二宮 和彦
- P-2 ICRP ボクセルファントムと PHITS を用いた放射性セシウム汚染土壌による人体影響の推定評価
徳島大学大学院保健科学教育部 佐藤 隆文
- P-3 茨城県つくば市の農林地土壌における ^{129}I の鉛直分布
農研機構農業環境変動研究センター 藤原 英司
- P-4 福島県大熊町で採取した土壌から発見された放射性セシウムを含む不溶性粒子の形状とその性質
大阪大学大学院理学研究科 五十嵐 淳哉
- P-5 福島県川俣町で採取した土壌とリター層の ^{90}Sr 濃度の経年変化
大阪大学大学院理学研究科 鈴木 杏菜
- P-6 福島県浪江町における ^{137}Cs の大気中濃度と降下量の時系列変化
(公財)環境科学技術研究所 長谷川 英尚
- P-7 一次元モデルを用いた大気混合層における福島事故由来 Cs-137 の再飛散量解析
筑波大学理工学群工学システム学類 池田 遼
- P-8 つくば市における ^{36}Cl 降下フラックス変動
筑波大学理工学群物理学類 落合 悠太
- P-9 Variation of ^7Be concentration in surface air at Osaka, Japan
大阪産業大学大学院人間環境学研究科 Pannipa Noithong
- P-10 地上計測を用いた市街地からのセシウム-137 流失率の評価
JAEA 福島環境安全センター 吉村 和也
- P-11 被覆面の違いによる除染後の空間線量率の変化傾向
JAEA 福島環境安全センター 中間 茂雄
- P-12 地質学的試料中の放射性セシウムの存在形態分析
明治大学大学院理工学研究科 水沼 丈也
- P-13 J-PARC ハドロン実験施設の金標的監視用ガス中放射能の解析 (2) ～ ガス中放射能の観測値とシミュレーション計算結果の比較 ～
高エネルギー加速器研究機構 別所 光太郎
- P-14 ワイヤスクリーンを用いた加速器エアロゾルの迅速粒径測定
京都大学原子炉実験所 沖 雄一
- P-15 溶液エアロゾルへの核分裂生成物の付着挙動における溶質の影響
京都大学大学院工学研究科 西澤 佑介
- P-16 J-PARC MR 加速器におけるコンクリート遮へい体内の含有元素と放射能深度分布の測定
高エネルギー加速器研究機構 西川 功一
- P-17 J-PARC ハドロン実験施設中性ビームラインにおける放射化実験
東京ニュークリアサービス 金井 敦史

- P-18 3Dプリンタと3D スキャナを利用した放射性セシウム基準線源の開発
尚綱学院大学 齊藤 敬
- P-19 尿試料中の微量元素・放射性核種分析におけるチタン共沈法の検討
弘前大学医学部保健学科 佐藤 啓樹
- P-20 特性 X 線解析に基づく福島第一原発事故由来の放射性粒子の元素組成分析
筑波大学数理物質研究科 松尾 一樹
- P-21 イメージングプレート (IP) 画像解析による放射能汚染土壌中の高放射能粒子の自動分析法の開発
大阪大学大学院理学研究科 張 子見
- P-22 Te analyses in environmental samples by ICP single MS and ICP tandem MS
弘前大学被ばく医療総合研究所 楊 国勝
- P-23 陰イオン交換クロマトグラフィーを用いた環境試料中のテクネチウム-99 前濃縮法の開発
弘前大学医学部保健学科 松田 毅
- P-24 プラスチックシンチレーターボトルを用いた放射性ストロンチウムの測定法の開発
(株)日立製作所 加藤 結花
- P-25 福島土壌試料からの不溶性放射性微粒子の選別法の開発
京都大学工学部 二上 文也
- P-26 福島第一原子力発電所事故で土壌に沈着した放射性アンチモンの定量法に関する研究
金沢大学院自然科学研究科 宮澤 直希
- P-27 well 形 Ge 検出器でサムピークを利用した ^{134}Cs の放射能測定法
名古屋大学アイソトープ総合センター分館 緒方 良至
- P-28 各種ラドン濃度計測手法の特徴に関する考察
慶應義塾大学 五十嵐 悠
- P-29 管理モニタのラドン濃度測定における問題点
神戸薬科大学 吉井 未来
- P-30 簡易放射線測定器エアカウンターを利用した環境放射線の測定
福島工業高等専門学校 布施 雅彦
- P-31 大気環境観測に有効な計測法の評価
東京都市大学大学院工学研究科 舟生 慶太
- P-32 緊急時環境放射線モニタリングへの導入を目指したヨウ化ストロンチウムシンチレーション検出器の
評価
福井県原子力環境監視センター 加藤 大輝
- P-33 施設ヒアリングに基づく放射線安全文化調査アンケートの設計
東京理科大学 小芝 嵩広
- P-34 福島市内における非除染地区で見られたこの6年間の線量率低減の状況比較
奈良学園中学校・高等学校 工藤 博幸
- P-35 Parameter Research and International Strategy Comparison on Radioactive Waste Management
東京大学 MA XIAO
- P-36 福島第一原発被災ウシの歯・骨中での放射性・安定セシウムの測定
東北大学理学部化学科 小野 拓実

- P-37 福島第一原発事故被災サル硬組織中の放射能濃度
東北大学理学部化学科 金子 拓
- P-38 南相馬市・浪江町内野生ニホンザル・アライグマの放射性セシウムの臓器内放射能濃度
東北大学理学部化学科 田巻 廣明
- P-39 土壌に添加した放射性銀の人工消化液による脱離率および実験動物における体内動態
京都大学大学院農学研究科 岩田 佳代子
- P-40 表層性ミズへの放射性セシウムの移行状況と代謝実験
京都大学大学院農学研究科 田中 草太
- P-41 ^{131}I の甲状腺取込を抑制する安定ヨウ素剤の代替物質に関する研究
大阪大学医学系研究科 澤井 幸光
- P-42 栃木県中禅寺湖における放射性セシウムの収支
国立環境研究所 野原 精一
- P-43 多摩川下流宿河原における底質中放射性セシウムの定点観測と存在形態分析
明治大学大学院理工学研究科 秋山 将人
- P-44 2016 年の福島県沖の海水と堆積物中の放射性セシウム濃度
量研機構放射線医学総合研究所 福田 美保
- P-45 水生植物を指標とした放射性及び非放射性 Cs の動態 — 2015-2016 年の結果 —
東京都立産業技術研究センター 永川 栄泰
- P-46 指標海産生物としての褐藻類アラメ中の ^{137}Cs 濃度の部位による違い及び経年変動と海域差
宮城県環境放射線監視センター 石川 陽一
- P-47 福島沿岸域における海水とプランクトンネット試料中の放射性 Cs の濃度変動(III)
量研機構放射線医学総合研究所 青野 辰雄
- P-48 落葉広葉樹の萌芽枝・植栽苗木に含まれるセシウム ^{137}Cs 濃度の比較
森林総合研究所 金指 努
- P-49 山菜への放射性セシウムの面積あたりの移行係数
量研機構放射線医学総合研究所 田上 恵子
- P-50 Cs-137 大気再飛散におけるキノコの胞子の動態解析
筑波大学理工学群工学システム学類 香川 遼
- P-51 樹種の異なる林地斜面からの放射性セシウム流出挙動
農研機構農業環境変動研究センター 井倉 将人
- P-52 クローバー根共生微生物の生成物による粘土鉱物中セシウムの溶出について
京都大学大学院工学研究科 木村 建貴
- P-53 コシアブラにおける放射性 Cs 分布調査
福島県林業研究センター 小川 秀樹
- P-54 土壌理化学的性分析に基づいた放射性セシウムの作物移行リスク評価
福島県農業総合センター浜地域農業再生研究センター 矢ヶ崎 泰海
- P-55 生育時期別に付着した放射性セシウムのイネとダイズの違い
東京大学大学院農学生命科学研究科 二瓶 直登
- P-56 放射性セシウム吸収抑制対策のためのカリ資材の施用効果
福島県農業総合センター 松岡 宏明

- P-57 栃木県中禅寺湖におけるブラウトラウトのセシウム濃度
栃木県水産試験場 横塚 哲也
- P-58 福島県産きのこ原木ロットの ^{137}Cs 濃度分布
福島県林業研究センター 手代木 徳弘
- P-59 Radiocesium distribution in river system environment surrounding the evacuated zone of Fukushima
Tokyo Metropolitan University, NIRS Siriprapa Somboon